

## 学校再開にあたって

愛知県内の各県立学校において5月25日（月）から学校が再開されることになりました。「新型コロナウイルス感染症対策の現状を踏まえた学校教育活動に関する提言」（5/1 付 学校における新型コロナウイルス感染症の対策に関する懇談会）では、

「社会全体が、長期間にわたりこの新たなウイルスとともに生きていかなければならないという認識に立ち、その上で、子供の健やかな学びを保障するということとの両立を図るため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ段階的に実施可能な教育活動を開始し、その評価をしながら再開に向けての取組をすること」が重要とされています。現在愛知県・名古屋市の感染状況は落ち着いていますが、感染拡大の第2波が起きている地域や国もあります。

一方、学校再開も必要不可欠なことです。学校再開後の学校生活についてまとめました。

学校はたくさんの人間が集う場所です。クラスター対策が非常に大切となります。

その為、以前と全く同じ学校生活は送れません。感染予防のために必要とされることを踏まえた学校生活になります。特に重要なことをまとめましたので確認してください。

(1) 発熱等の風邪の症状があるときは自宅で休養してください。

※各御家庭におかれましては、毎朝登校前の検温と風邪症状の確認を必ずお願いします。また発熱等の風邪症状の理由での御欠席についてはその旨御連絡いただきますようお願いいたします。

※登校後、生徒に発熱等の風邪症状が確認された場合にも自宅で休養させることになっています。御家庭に御連絡しますので、お迎えに来ていただきます。帰宅に際しては公共交通機関の利用を避けなければなりませんので御協力をお願いします。

また、発熱等の風邪症状への対応は保健室ではなく別室での対応となります。どうか御理解願います。

**以上は、万が一への対策です。**

**急に体調が悪くなることは誰でもあります。そんなとき「どう思われるかな？」と心配しないでください。先生や周囲の人に伝えましょう。**

**誰も感染する可能性はありますし、感染することが悪いことでもありません。このことを忘れないでください。**

**目に見えないウイルス相手なのでみんなが不安な思いを持っているでしょうが、お互いを思いやる気持ちを大切にして「あたたかい」雰囲気です松蔭高校の学校生活を再開できるように力を合わせましょう。**

(2) 「新しい生活様式」の実践例（5 / 4 厚生労働省）から

ア 一人一人の基本的感染対策（抜粋）

**感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い**

□人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。

**※教室での着席時などソーシャルディスタンスを完全にとることができない場面もありますが、それ以外の行動では意識しましょう。**

□会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。

□外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用

□手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。（手指消毒薬の使用も可）

イ 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気※冷房中も換気します。
- 身体的距離の確保
- 「三密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪症状がある場合はムリせず自宅で療養

ウ 日常生活の各場面別の生活様式（一部）

**公共交通機関の利用**

- 会話は控えめに
- 混んでる時間帯は避けて

**食事**

- 対面ではなく横並びで座ろう
- おしゃべりは控えめに
- グラスの回し飲みは避けて

(3) その他学校生活で気を付けることができること

- ア 手をふくタオルやハンカチ等は個人持ちとして共用しない。
- イ 飲み物の容器を共有することは極めて感染リスクが高いです。マイボトルを利用しましょう。